



令和4年度八王子市民活動協議会理事立候補者の所信表明

あいうえお順

1/18	磯間 雅也(個人)
	<p>「市民活動の活性化を通じて地域発展に貢献」還暦を過ぎ私が行いたいことです。八王子に生まれて育った私の経営している株式会社アヤックスは令和4年に創業100年を迎えました。個人商店から有限会社、株式会社と規模を拡大し日本の起業家300人に選ばれました。約30年の経営の中では危機もありました。会社規模を縮小し負債を整理、無借金経営にしたノウハウなどもあります。これらは団体や企業へのアドバイスに役立つと思います。今後は、スキルと経験を活かして八王子市民活動協議会「女性・若者・シニア創業サポート事業」を通じて八王子のまちづくりに貢献していこうと考え理事に立候補しました。</p>
2/18	宇田川 正徳(ライフデザインネット株式会社)
	<p>八王子の地で事業活動をさせて頂くことになり、地元の方々、サークルなどとの繋がり、当地の文化、歴史、特性などを知りたいと思って、志民塾にも参加させて頂きました。地元の活性化、埋もれた文化の掘り起こし、次世代への継承などの実現へ活動したいと思っています。貴会の理事をさせて頂くことで、実際の活動を通して私の目標を具現化したいと切望します。特に「女性・若者・シニアサポート事業」に関与出来ればと存じます。その他協議会の歴史等も研究したいです。</p>
3/18	内野 洋子(エコショップ元気広場)
	<p>二期四年やらせていったきました。もう少しお役に立てるのではないかと思います立候補します。</p>
4/18	岡崎 理香(個人)
	<p>理事長として2期を終えた。この4年間の協議会の変革やチャレンジに微力ながら貢献できたと思っている。1年目は支援センター事業の会計で八王子市や外部監査と見解が相違し、これまで認められていた収入が入らず実質赤字の決算となったが、何とか収入の方策を工面し現在では財政的には安定してきた。2年目からはセンターと協議会の業務の連携に力点を置き、地域連携部をセンターに設置し協働に努めた。3年目はセンターの指定管理者再任を目指して何度も理事会で新しいポジティブな企画を検討し、提案をして認められた。センター指定管理のリスタートとなった4年目はスタッフの勤務体制、事業企画など新たなチャレンジをし、成功した年でした。今後は、この改革を継続していくとともに、協議会のルールも再整備にも着手したい。</p>
5/18	奥村 暁(個人)
	<p>2年間の理事としての任期を通じて、今一番強く感じているところは、協議会が市民活動の活性化にどのように貢献していくかという原点に立ち返ることではないかと思っています。 会員のニーズを把握し、それを基礎として実行に向けての体制を作ると書けば簡単なことのようにですが、それを実現するためには、現実的な方向性を持ったプランの作成と多くの人の理解と協力が必要となります。それに向けて少しでも努力ができればと思います。また、資金面での工夫も必要であり、何らかのお手伝いが出来ればと思います。将来的には、地域の活性化というのが大きな目標です。</p>

6/18	小山 梨絵(個人)
	<p>八王子市に住み始め10年弱、出産育児を機に市の取り組みや市内の様々な活動やイベントに興味を持つようになりました。また私は市内で個人事業主開業をして10年目になります。子育てをしながら働くにあたり、待機児童・貧困や虐待などの問題、子どもや親の障害なども身近に感じるようになりました。</p> <p>自分にも何かできることはないだろうか？と模索してきましたが、個人でできることは少なく3年前八王子市生涯学習支援員に応募しました。そこで八王子の市民活動について知るようになり、私達のような子育て世代にまで拡大していけばもっと望ましいまちになって良いのではないかと思い、応募致しました。以上よろしくお願ひいたします。</p>
7/18	齋藤 健(個人)
	<p>地域が抱える課題や、病気・貧困・教育という社会的課題などに取り組む八王子地域の280を超える市民活動団体を「NPOPハンドブック」にまとめ、刊行しました。私たちの住む八王子の街がお互いに支えあい、生き甲斐と喜びを感じられるよう、市民の方々や市民活動団体との協力、それに行政を交えて、より豊かな地域社会を築いていきたいと考えております。その基になる社会福祉の分野について、これまで十分ではなかったように感じられます。今後、同分野の調査・研究をすすめ、団体や行政との協力体制を築いていきたいと思っています。現在、八王子市民活動協議会の推薦で、社会福祉審議会の委員に就任し、活動しております。</p>
8/18	鮫島 淳(個人)
	<p>私自身、起業するに至り、八王子市民活動協議会「女性・若者・シニア創業サポート事業」担当の石見氏のご支援を受けさせて頂いた経験がございます。現在、弊社が毎年売上を伸ばし続けることができているのも、偏に協議会のお力添えがあったからです。今後は、私自身が八王子市民および市民活動団体に対して、又は、「女性・若者・シニア創業サポート事業」を通じて恩返しをする番であると考え、今回理事に立候補させて頂きました。</p> <p>私が得意とする「ビジネスモデル構築」を武器に、新たなビジネス、既存ビジネスの改善及び拡大のご支援を中心に活動したくここに決意表明をさせていただきます。若輩者ではございますが、何卒宜しくお願ひ申し上げます。</p>
9/18	高倉 裕香(すまいるカフェ)
	<p>八王子市民活動協議会には、所属する2つの団体で、団体設立、運営、資金調達に至るまでノウハウを教えて頂き、何とか維持、発展させることが出来ました。わたしはこの経験を活かして、課題を抱える団体に寄り添い、八王子の地域活動発展に寄与できれば！と考えています。</p>
10/18	為永 行雄(個人)
	<p>第一回チデパ802に実行委員として、企画や運営に携わり、各種団体と交流する途中で、その一部ですが市民活動協議会の役割や意義を認識することが出来ました。更に、志民塾の先輩やOBの方も協議会等で活躍しており、私も微力ながら、より一歩以上関わり、活動したいとの意を新たにしました。団塊世代の一人として、私の拙いスキルや社会性を考えると、当面は八王子市市民活動支援センターの運営管理について、皆様と共に一つずつ学んでいきたいと思ひます。</p>
11/18	力石マルシア(個人)
	<p>来日してから27年余り、仕事と育児をしながら、日本とブラジルでボランティア活動と地域の市民活動に関わってきました。八王子に引っ越してから、主に国際理解、多文化共生と学習支援の活動をしてきましたが、八王子市市民活動支援センターに勤めてから、市内での幅広い市民活動と分野を超える地域連携の大切さを実感しました。八王子市で市民活動に関わっている皆様の頑張っている姿を見て、是非、市民活動団体の応援、抱えている課題解決と地域連携の教科のお手伝いをしたいと思ひました。ブラジルと日本の企業及び地域活動で身に着けたコミュニケーションスキルやマネジメントの知識と経験を活かし、八王子市民活動協議会の発展と八王子市の市民活動支援委取り組んで行きたいと考えています。</p>

12/18	千種 康民(NPO法人情報ボランティアの会・八王子)
	<p>協議会設立20周年、中間支援組織としての実績を踏まえ、時流に即した新しい協議会を有益な活動を通じて内外に訴求すべきである。激動の社会変革への市民と団体の要求は協議会事業の適切性とスピードである。現在の多くの団体正会員を迎え、直接に団体支援をした理事も団体代表の理事も極めて少数であり、理事会の改革も必須である。</p> <p>事業も目的分野毎に中間支援組織らしく団体と協働し新規企画を遂行し、市民活動支援をすべきであるが、数年間の実績は乏しく、団体ニーズとのミスマッチも顕著である。同じ未来を目指し、一団体一団体を丁寧に支援できる有能な理事を多く迎え、事業統廃合・適材適所にて協議会変革の第一歩を歩んでいきたい。</p>
13/18	巴 義明(個人)
	<p>八王子市民活動協議会には、これまでに培ってきた経理経験やIT・情報セキュリティに関する知識を活かして、八王子市民や団体・企業などの活動に貢献していきたいと思入会致しました。理事に選任いただいた際には、この経験や知識を活かして協議会の活動拡大と運営効率化にも貢献していきます。</p> <p>私個人でできることは限られていますが、協議会を更に発展させることで、協議会を通してより多様な市民活動を支援できるようにし、今まで以上に八王子エリアの市民活動の活性化と地域発展に貢献していきたいと考えています。以上、宜しくお願い致します。</p>
14/18	中川 和郎(一般社団法人八王子自治研究センター)
	<p>令和4年度に第9回NPO八王子会議を開催します。リアル形式での開催を目指します。内容はコロナ時代の市民活動をどう展開するか、という大前提のもと、自分(自団体)が行いたい活動や事業をピッチ形式でプレゼンしてもらい、他の参加者から助言や連携、支援を引き出し、新たな連携・協働を生み出す場となるように企画します。講師は第8回に引き続き、松原明さんです。そして、令和5年度開催予定の第10回NPO八王子会議は、NPO八王子市民活動協議会設立20周年にふさわしい内容で検討してまいります。</p> <p>その他、NPOフェスティバルの企画・運営などにも関わり、市内の団体が集い交流の場として推進していきます。</p>
15/18	籾野 貞夫 (個人)
	<p>ポストコロナ、多様な価値観、グローバル等まさにVUCAの時代にあり中間支援組織に対する期待は今後益々増えていくと思われれます。現在、センターは、課題に対し自助の精神で主体的に取り組む、人を尊重する組織として内外からの支持を受けています。これは先達の努力の結果であり、今後も的確な方向付けと同じ目標を向いた助言と協働を図ることで継続的な成果を析げられるものと思います。協議会は、C'NPOを輩出するNPO"という夢、"会員の利益のために"を意識した活動も必要かと考えます。そこで最初のステップとして①自己認識と学び②会員、志民塾(卒塾)生の想い、チカラを引出し活用③スタートアップ育成につき会員に呼び掛け協働し検討したい。</p>
16/18	濱野 悦博(個人)
	<p>およそ17年余り、さまざまな地域の市民活動支援の場に関わってきました。団体の担当者の方といっしょになってNPOの専門知識、会計、広報等のアドハイスの仕事を重ねながら、市民活動に関わるトレンドの変化を肌で感じています。こうしに知識や経験、そして八王子市内で培った人脈を活かして、八王子市民活動協議会と八王子市内の市民活動の発展のためにつくしていきたいと考えております。</p>

17/18	廣川 英資(個人)
	<p>「安心して暮らせるための地域共生社会の実現」のための以下の助成金申請を団体と連携して実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①居場所支援(「支えあいプラットフォーム」のネットワークの構築) ②情報支援(NPOハンドブック等団体情報整備と情報提供及び連携支援) ③生き甲斐支援(各種展示・イベント・絵画写真展示等生きがいつくり支援) ④助け合い支援(地域助け合い活動支援) ⑤フレイル支援(健康体操、健康セミナー、ITセミナー講演、医療介護講演) ⑥障害者、難病患者、がん患者等活躍支援 ⑦結婚、子育ての希望実現等子ども支援 ⑧若者や子どもたちの生きづらさ等の支援
18/18	村田 正文(個人)
	<p>2021年4月から一年間、協議会及び支援センターの経理を担当して参りました。2021年度は現在、決算の作業中ですが、運営側のことも知る必要があると思い、この度理事に立候補することになりました。</p>

以上